

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	ことばを通して見る文化、その多様性とグローバル化の功罪
所属	人文学部 人文学科
氏名	木下 有子
【概要】 認知言語学の分野で研究を進めると同時に文化人類学の分野でも研究を深めている。世の中の事象の捉え方は文化によって様々で、それをどのように言語化するかもまた多様である。世界の様々な言語や文化を比較観察し、それを通してことばや文化が多様であることの重要性を示し、グローバル化の功罪を考えている。さらに、そこから、日本における言語教育、異文化理解教育のあるべき姿についても考察を加えている。	
キーワード	言語学 / 英語学 / 外国語教育 / 文化人類学